

開会…午後五時三十分
閉会…午後七時
参加費…二千元

講演・協議会ならびに交流会において非常に活発な意見交換が交わされた。

常任理事(庶務担当) 山本 哲郎

第十五回

医学研究助成金の授与

平成二十二年九月一日(水)午後六時から「平成二十二年(第十五回)肥後医育振興会医学研究助成金授与候補者選考委員会」が開催されました。選考委員会は七名の選考委員で構成され、熊本大学大学院生命科学研究所からは竹屋元裕教授(基礎系)、谷原秀信教授(臨床系)、中川和子教授(薬学系)、森田敏子教授(保健学系)が、熊本県医師会を代表して倉津純一理事が、関連病院からは国立病院機構熊本医療センターの河野文夫副病院長、熊本大学の生命科学研究所の森田敏子教授がそれぞれの出身母体から推挙されました。委員会の冒頭に委員の互選で竹屋元裕教授を委員長に選出し、議事に入りました。その後、研究助成金については、従来の方針どおり多彩なフィールドから優秀な研究者選考するという原則を確認し、二十一名の応募者の研究課題や他の助成金授与状況などを検討して、六名の助成金授与候補者が決定されました。その後、九月七日の常任理事会及び九月十七日の理事会を経て正式に承認されました。応募者の内訳は、熊本大学大学院生命科学研究所から六名、同大学院医学教

育部から二名、同医学部附属病院から六名、同薬学部から二名、同研究センター等から三名、崇城大学から一名、熊本保健科学大学から一名でした。授与者六名の氏名、所属、研究課題は次のとおりです。

・董 一飛 熊本大学大学院生命科学研究所 生体機能薬理学分野 学術研究員

「高血圧性脳・心血管障害に対するAT1受容体ブロック剤(ARB)とカルシウム拮抗薬(CCB)の併用療法の有用性と意義」

・岩槻政晃 熊本大学大学院生命科学研究所 消化器外科学分野 助教

「消化管癌の抗癌剤感受性を規定する新規血中 exosome-microRNA の同定」

・藤田雅紀 熊本大学大学院先端機構 創薬科学 特任助教

「海洋メタゲノムからの医薬品資源として有望な物質の生合成遺伝子の探索と生物工学的な生産」

・林田桃子 熊本大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医員

「マウス蝸牛におけるT.sukushiの発現について」

・白石善興 熊本大学生命資源研究・支援センター(アイソトープ総合施設) 技術職員

「放射線免疫療法モデルマウスの開発に関する研究」

・鏑木 誠 熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学 助教

「高齢者転倒予防の為に統合的動作

解析を用いた刷新的評価法の確立」

第十四回 医学国際交流助成金(外国人留学生奨学金)の授与

当財団は外国人留学生に対する支援活動の一つとして、外国人留学生への奨学金授与を行ってきました。平成二十二年度も「第十四回外国人留学生奨学金授与候補者選考委員会」が前記助成金授与候補者選考委員会に先立って開催されました。今回は医学教育部長から六名の推薦があり、いずれの応募者も奨学助成対象者として選考され、九月七日の常任理事会及び九月十七日の理事会を経て承認されました。授与者六名の氏名、所属は次のとおりです。

・ポルンクナラティオン

熊本大学大学院医学教育部医学専攻 博士課程一年(タイ国)

・周 波

熊本大学大学院医学教育部医学専攻 博士課程一年(中国)

・趙 睿

熊本大学大学院医学教育部 研究生(中国)

・蘇 宇

熊本大学大学院医学教育部医学専攻 博士課程二年(中国)

・田 哲

熊本大学大学院医学教育部医学専攻 博士課程二年(中国)

・徐 琦

熊本大学大学院医学教育部医科学専攻 修士課程一年(中国)

第十五回医学研究助成金及び第十四回外国人留学生奨学金の合同授与式開催

平成二十二年九月二十八日(火)午後五時半より、医学教育図書棟四階ゼミ室において、上記助成金及び奨学金の合同授与式が行われました。神原武理事長から助成金・奨学金とも各件十五万円が授与者一人ひとりに手渡されました。あいさつに立った理事長は「この財団は医学医療に理解のある多くの方からの浄財に

